

Press Release

2019年11月7日
株式会社コンカー

コンカーの Concur® Expense を 経費精算・管理の業務プロセス変革の基盤として東レが採用 ～従業員の利便性向上とガバナンス強化の両立を目的～

出張・経費管理クラウドのリーダーである株式会社コンカー（本社：東京都中央区、代表取締役社長：三村真宗、以下 コンカー）の経費精算・管理クラウド「Concur® Expense」が、東レ株式会社(以下、「東レ」)に採用され、経費精算・管理の業務プロセス変革の基盤として、2019年10月から稼働を開始しました。

東レのシステム部門においては『クラウドファースト』を新たな基本方針に設定し、所有から利用へ軸足を移す取り組みを本格化しています。

今回、東レは老朽化した経費管理システムを刷新するタイミングで、国内外の出張費と従業員向け経費管理システムを統合し、業務プロセスの標準化を図るとともに、ガバナンス強化を実現すべく、Concur Expense の採用にいたりました。

また、グループ会社の東レエンジニアリング株式会社との共同プロジェクトとして遂行することで、東レの国内グループ会社での業務プロセスの標準化も図っています。今後、東レの国内グループでのさらなる展開を予定しています。

Concur Expense の導入により、従業員はモバイルを使って外出先からの経費精算申請・承認手続きが可能になるほか、交通系 IC カードの乗車履歴の読み取りや法人カードからの経費データの自動連携など、経費精算業務の効率化による利便性向上を実現することができます。また多通貨対応しているため、同社で急増している海外出張における経費も簡単に精算できます。更に、旅費規程チェックの自動化により、従業員に旅費規程を遵守させつつ経理部門のチェック工数を削減することが可能になります。将来的には、電子帳簿保存法活用による領収書の電子化を推進し、ペーパーレス化による更なる業務効率化、コスト削減を目指しています。

コンカーの代表取締役社長である三村真宗は、次のように述べています。

「この度、東レ様の経費精算・管理業務の基盤として Concur Expense を導入いただいたことを大変嬉しく思います。グローバルでの競争力を強化するためには、業務効率化とガバナンス強化の両立が

不可欠です。弊社サービスを通じ、東レ様のさらなる事業拡大をご支援させていただきたいと考えております」

■株式会社コンカーについて

世界最大の出張・経費管理クラウド SAP Concur の日本法人で、2010年10月に株式会社サンブリッジとジョイント・ベンチャー方式で設立されました。『Concur Expense（経費精算・経費管理）』・『Concur Travel（出張管理）』・『Concur Invoice（請求書管理）』を中心に企業の間接費管理の高度化と従業員の働き方改革を支援するクラウドサービス群を提供しています。

コンカーの詳細については www.concur.co.jp をご覧ください。

■SAP® Concur について

20年以上にわたり、出張・経費・請求書・コンプライアンスそしてリスクなどの間接費に関するすべての管理を自動化することで、あらゆる業種におけるあらゆる規模の企業を支援しています。SAP Concur の世界標準の知見と業界トップのイノベーションは、多種多様なパートナーとアプリケーションのエコシステム、従業員のムダな時間削減を支援するソリューションや最先端の技術、そして包括的な出張・経費データの活用を通じ、お客様の出張・経費管理の価値最大化に貢献します。ユーザーフレンドリーですぐにビジネスに活用できる SAP Concur のソリューションは、ビジネス課題の複雑性の低減と間接費の可視化を促進することで、企業に強力な洞察力を与え、積極的な間接費管理を実現します。詳細は concur.com または [SAP Concur ブログ](#) をご覧ください。

SAP、SAP ロゴ、記載されているすべての SAP 製品およびサービス名はドイツにある SAP SE やその他世界各国における登録商標または商標です。またその他記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。